

## 我が家のグリーンカーテン

我が家のゴーヤのカーテン作りは今年で5年目になります。自宅でゴーヤが出来れば面白いなあと単純に、また少しでも環境に貢献できればいいかなと始めたのでした。

毎年の出来具合は人に自慢できるものではありませんが、夏の暑さよけには結構頑張ってくれていて、日中涼しくて、そして結実して出来たゴーヤの実も結構美味しく頂いています。

昨年、友人にゴーヤを勧めたところ、過日して返事が返ってきました。

聞けば彼には同居する家族(ご両親)がおられるようで、そのご両親はお二人とも体が不自由であり、毎日がベッド生活を余儀なくされた生活を続けておられるとのことでした。

「毎日毎日私の両親は天井を見つめるだけの日々でした。でも今年の夏、貴方に薦められたゴーヤの苗を植えてみたところ、窓辺下のプランターに取り付けたネットにゴーヤの蔓が伸びてゆき、そしてそれとともにゴーヤの葉っぱが茂り広がり始めました。その様子を毎日ベッドから横目に眺めていた父母は、『ゴーヤの葉っぱが青々としてきて見た目にも涼しいね。風にユラユラ揺れる様子を眺めていると、気持ちも癒される』と喜んでおりました。本当にありがとうございました。」と嬉しいお便りを頂きました。

そんなゴーヤを想像していると私も逆に癒されてしまいます。

さて我が家のゴーヤ君達。今年はどんな優しい気持ちを伝えてくれるのか楽しみです。

### 2016年。

今年は、材料すべて生協で購入しグリーンカーテンに挑戦しました。

太れいしの種を福知山の作業所さんから生協を通じて頂き、土は生協で購入したキッチンガーデンを使用しました。

(5月1日)いよいよ開始ですが、種を蒔く頃から天候不順で、気温が上がらず発芽がかなり遅れました。

(5月22日)植え付け後も、天候不順が災いし、なかなか成長してくれずやきもきしましたが、その後6月17日頃から一気にあがり始めた気温に葉っぱも負けじと大きく育ってくれました。

家の前を通られるお年寄りや保育園に通う親子づれが、立ち止まってはゴーヤを眺め会話し、お年寄りには癒されると言っていたくなど、地域に貢献出来ることがうれしく思いました。

(7月17日)収穫したゴーヤをご近所や通りすがりの方にお裾分け。

「私は生で食べるのが好き。」とお向かいさん。いつものお年寄りには「今年はかわいいわね〜。」の感想を頂きました。

グリーンカーテンを施しているのは南向きの部屋ですが、おかげさまで太陽の強い日差しを遮ってくれて、室温も低く、また部屋の中からも風にそよぐ緑のゴーヤカーテンで日々癒されています。

ハーブさん